

## 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

奈良教育大学 保健体育専修 3回生 198114 田中 涼子

### 1. 単元名 「水を長生きさせよう」

#### 2. 単元の目標

- ・水の循環や今後の水の利用可能性、水を取り巻く問題、水の歴史について調べまとめることを通して理解し、水を長生きさせるための方法を考え、実行することができる。 (知識・技能)
- ・調べたことや普段の自分たちの様子を見て課題を見出し、水の利用可能性を高くするためにできることを考え、ポスターにまとめて伝えることができるようにする。 (思考・判断・表現)
- ・水は有限であるため、長生きさせるためには自分たちが動かなければならないという危機感を持ち、意欲的に取り組むことができるようにする。 (主体的に学習に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1) 教材観

「私たちが生きていくうえで欠かすことができないものは何か」、「自分たちの生活における水の利用状況」、「水道水が飲めること」などの、児童の当たり前の生活における水の利用から水の大切さを学ぶ。このことによりこの活動への意欲を高めることができ、さらに社会科の授業と並行して行うため、この単元に入りやすいと考えられる。

また、調べ活動を行った上でそれを学級で共有し、得た知識を活用して自分にできることは何かを考えて実践するため、単元後も児童の生活における行動を変えることができるようになる。そして、その行動化が子どもを取り巻く家族などの環境にも影響させることができると考えられる。

##### (2) 児童観

本学級の児童は、同時期に社会科と並行して「水はどこから」という単元で水について学んでいる。社会科の授業においてほとんどの児童は積極的だが、得た知識を行動に結び付ける経験ができていないため、意欲的な態度が見られない児童もいる。したがって、この単元を通して水を長生きさせるための行動化を図り、且つ社会科の意欲を上げるためにも、この期に本課題を取り上げる意義は大きい。

##### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず児童の生活における水の利用から使用状況を把握させ、使用量の多さを実感させて意欲を持たせる。また、世界と比べて飲み水が飲めることや水のありがたみを理解し、水があるのが当たり前ではないことを実感させてより危機感を持たせたい。

次に、『水の博士になろう』というテーマを設定し、水の博士になるために、知らないことを調べるようにする。その際に、水について知らないことや疑問を児童に挙げさせ、それを教師が上手く誘導してテーマを決定することで、学ぶ意欲を持たせるようにする。さらに、この調べ学習で学んだことをポスターにして全体で共有することで、知識を増やすことができる。

そして、調べ学習から今自分にできることを考え、それを実践させる。この機会を設定し、最後に成果発表会を行うことで、達成感を味わうことができ、行動化を継続させることができるようにする。

#### (4) ESDとの関連

##### 本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

- ・相互性：水が地球上を循環しており、水の利用可能性を長くするためにはにはすべての人の活動が相互に影響しているということ。
- ・有限性：現在私たちが何気なく使っている水は限りがあり、節水をしたり節水のために使い方を工夫したりする必要があるということ。
- ・連携性：水の利用可能性を高めるためには、この地球に住むすべての人が協力することが必要であることを理解し、そのためにはまず自分が行動する必要があるということ。

##### 本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・未来像を予測して計画を立てる力：水の利用可能性から今私たちにできることは何かを考え、計画を立てて実践する。
- ・他者と協力する力：調べ学習が円滑に進むようにするためにグループで役割分担をして行ったり、全体で調べた内容を共有したりして、他者と協力して実践内容を考えることができるようにする。
- ・進んで参加する態度：水の利用可能性を長くするために自分にできることは何かを考え、調べ学習や実践を意欲的に行うようにする。

##### 本学習で変容を促すESDの価値観

- ・幸福感に敏感になる、幸福感を重視する：自分たちの世代だけが水を多く使用できて幸せであることが、将来的にも幸せであるとは限らない。

##### ・達成が期待されるSDGs

目標6「安全な水とトイレを世界中に」

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①水の循環や今後の水の利用可能性、水を取り巻く問題、水の歴史などを理解している。	①調べたことや普段の自分たちの様子を見て課題を見出している。	①水についての知識を得るために、意欲的に調べたりインタビューしたりしようとしている。
②調べたり学んだりして獲得した知識を、ポスターにまとめる技能を身に付けている。	②水の利用可能性を高くするためにできることを考えたり伝えたりしている。	②水を長生きさせるためには自分たちが動かなければならないという危機感を持ち、意欲的に取り組もうとしている。

#### 5. 単元の指導計画（全 15 時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価(△) 備考(・)
1	○興味関心を持つ ・みんなが生きていく上で欠かすことができないものはなんだろう？ ・普段の生活における水の利用状況について振り返る。 ・世界の水の利用状況を考える。	・トイレ、飲み水など、2リットルのペットボトルで1日の使用量を視覚化する。 ・学校の水道料金の表、教師の家の水道料金の表を子どもたちに提示する。 ・日本は蛇口をひねったら水が出てくるけど外国はどうか。 ※①放課中に教師が手洗い場にカメラを置き、子どもの手洗いの様子を撮影しておく。	
2	○課題を設定する【グループ】 「テーマ1」を教師が発表する。 『水の博士になろう』 ・水について知らないことや疑問を挙げ、共有する。 ・絞った課題をグループで選択し、課題設定をする。	・疑問を挙げるときは、教師がヒントを与えるようにする。 →水はどこから来ているんだろう？など ・SDGsの目標「水を大切に」に特につながるような課題を、子どもたちの出た意見から絞っていく。	△イ①
3	○情報を収集する ①水について本、文献、やインターネット、インタビューなどで情報を収集する。 ②浄水場の社会見学に行き、仕組みや水について知る。（社会科の学習も兼ねる） ③①②で得た情報をグループで共有し、ロイロノートにまとめ、整理する。	・子どもが調べる場を提供する。→図書室、コンピュータ室など ・社会見学で学んだことと、調べて得た知識をまとめられるようにノートを設定しておく。	△ア① △ウ①

4	<p>○まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記③でまとめた情報をポスターにして表現する。</li> <li>・ポスターにした調べ学習の成果の発表会を行う。</li> <li>・5つの発表を聞いて、思ったことや考えたこと、衝撃を受けたことなどを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターにする理由は、他のクラスの教師や子ども、授業参観に来た保護者などにも見せるため。</li> <li>※②放課中に教師が手洗い場にカメラを置き、子どもの手洗いの様子を撮影しておく。</li> </ul>	△ア②
5	<p>○整理・分析【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入後①と調べ学習後②の様子を見せ、子どもたちの意識の差を分析・自覚させる。</li> <li>・自分たちの水の使い方を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①②を見せて、「動かなければ!」、「改善しなければ!」と実感させる。</li> <li>・改善点や水を大切に使うにはこれから何をすべきかなどを考えさせる。</li> </ul>	△ウ②
6	<p>○まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今私たちにできることは何か、今後私たちに必要なことは何かを場所ごとにまとめる。</li> <li>・収集した情報と整理・分析した内容をロイロノートにまとめ整理し、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所ごとにまとめさせる時は、洗面所、お風呂、洗濯、台所の観点からまとめる。</li> </ul>	△イ② △ウ②
7	<p>○課題を設定する</p> <p>「テーマ2」を教師が発表する。 『水を長生きさせよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時でまとめた内容から、今後の生活でできる課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗面所、お風呂、洗濯、台所で①節水の観点 ②節水以外の観点とする。</li> <li>・お手伝いの要素も入っており、小学校5年からの家庭科の予行演習だということを説明する。</li> </ul>	△イ①② △ウ②
8	<p>○実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間、自分で設定した課題を実践する。</li> <li>・どのくらい節水できたかの指標として <a href="https://www.kao.co.jp/econikki/teachersguide/data/">https://www.kao.co.jp/econikki/teachersguide/data/</a> を参照し、1Lにつき1ポイントとして節水の成果を計算し、記録しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が達成シートを用意し、実践中に書き込むことができるようにする。</li> <li>・子どもを行動化させ、子どもを取り巻く環境（家族）にも影響させる。</li> </ul>	△ウ②
9	<p>○まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の実践を通した振り返り（ポイント換算やできたこと、課題）をロイロノートにまとめ、グループで発表し合う。</li> <li>・出てきた課題に対して、これから具体的に何をしていくべきかをグループで話し合う。</li> <li>・課題とそれに対して話し合った内容を全体に共有し、具体的な行動内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算しておいた節水の成果を合計し、ポイントを出す。</li> <li>・教師が全体を振り返り、まとめをする。</li> </ul>	△ウ②

# 『水を長生きさせよう』シート

4年 組 名前 \_\_\_\_\_

自分で設定した  
課題を書こう！

	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
洗面所①節水	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
洗面所②節水以外	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
お風呂①節水	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
お風呂②節水以外	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
洗濯①節水	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
洗濯②節水以外	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
台所①節水	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
台所②節水以外	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L	節水量 L
合計節水量	L	L	L	L	L	L	L
合計ポイント (1Lにつき1P)	P	P	P	P	P	P	P

合計で何L水を長生きさせられたかな？  
毎日の頑張りが目に見えるね！

1週間の合計

L  
P